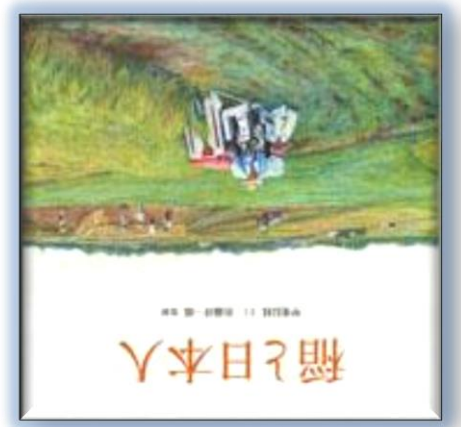


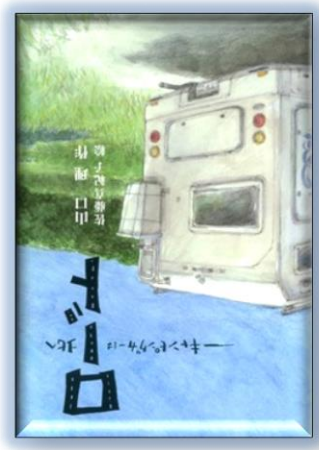
おにぎりは好きですか？ 日本人が二千数百年もの大昔から、どんなくふうをして、お米を育て続けてきたのか、よくわかる本です。

J616 『稲と日本人』 申妻信枝/さく 佐藤洋一郎/監修 福音館書店 2015



おれは久斗。六年生。ある日突然、父ちゃん会社をクビになりました。そして、父ちゃんに、家族でキャンプに行こうとほりきる父ちゃんてしまったのです。仕事も決まっていらないの

J913 『ロード キャンピングカーは北へ』 山口理/作 佐藤真紀子/絵 文研出版 2014



J588 『かき氷 天然氷をつくる』 細島雅代/写真 伊地知英信/文 岩崎書店 2015



天然の氷を食べたことがありますか？ 埼玉県長瀬に住む阿左見さんのお家では、100年以上も前から山の谷間にある池で天然の氷を作っています。夏がすぎ、次の春がくるまでの間、自然の中でどのように天然の氷は作られていくのでしょうか。

J930 カ 『エルマーのぼうけん』をかいた女性ルース・S・ガネット』 箭沢明枝/著 福音館書店 2015



小さいときからお話を作ることが好きだったガネットさん。子どもころの学校生活や両親の離婚について、大人になってエルマーのぼうけんを書くまでを、ご本人のインタビューを通して書かれています。

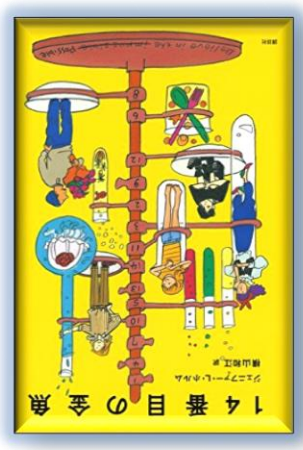
ニョトリのお家は養鶏場。毎朝、三千羽のニョトリが卵を産みます。お母さんは待望の2人目を妊娠するも、あちやんか危ない状況で入院することに。さびしいゾウツシロはハットの話す(1)ニョトリのセモリアからニョトリの神様の生命の誕生の物語を聞きま

J933 カ 『三千と一羽がうたう卵の歌』 ヨイ・カウリー/著 杉田七重/訳 フライツド・エリオット/絵 さ・えら書房 2014



ある日、エリーの前にあらわれたのは変わった者の男の子。でも、どこかめでたそうな。短い髪型の方が似合うと言って「三十年もの間、ハゲでいたんだぞ。せつかく髪がも生えたというのに、すぐに切ろうと思えるか？」だって。本当に13歳なの？

J933 ホ 『14番目の金魚』 シェニコー・L.ホルム/作 横山和江/訳 講談社 2015



なつやすみに おすすめのほん

2016
こうかくねん お
高学年 向け

【本のつくりかた】

- き切る
- - - - やまお 山折り
- たにお 谷折り

このとおりに折ると
なんと！びっくり本になるよ！！！！

☆発行☆

かまくらしちゅうおうとしょかん
鎌倉市中央図書館 0467 (25) 2611
2016年7月

☆なつやすみの きゅうかんび☆

7月25日(月ようび)
8月29日(月ようび)